学校紹介新聞

阿見町立 あさひ小学校

◆校　長　宮﨑　智彦
◆児童数　776人
◆創　立　2018年
◆住　所　稲敷郡阿見町本郷１の５の１

がんばっています！

土浦（つちうら）市にある上高津貝塚（かみたかつかいづか）をおとずれ、火おこしを体験する６年生

「本物」大切に体験学習

あさひ小学校は、創立５年目のフレッシュな学校です。校名の由来は、校章にもデザインされている、地平線から昇る朝日が明るい未来・希望へ向かう道と重なることから名付けられました。

開校以来、地域の温かいサポートを得ながら、一人一人のより良い学びを支える協働体制を築いています。また、質の高い授業展開や互いを認め合う場を充実させるなど、特色ある教育活動を行っています。

特に、英語専科による外国語活動、栄養教諭による食に関する授業なども盛んに行っています。また、近隣の施設に出向いては火おこし体験をしたり、戦争体験から平和の大切さを実感したりするなど「本物」を大切にした体験学習にもしっかり取り組んでいます。

学校は生活の大半を過ごす場所です。誰にとっても貴重な学びを実現する学校づくりを進めていきます。　（教頭　江幡綾子）

保護者の活動

「あさひチャレンジ」について説明する島田孝ＰＴＡ会長と、あさひ小のマスコット「あさひ君」（右）、参加賞の缶バッジ（左）のコラージュ

親子の絆深める挑戦

コロナ禍のＰＴＡ活動ですが、「何ができないではなく、何ができるかを考え」ようと、2020（令和２）年度から「あさひチャレンジ」を始めました。共通種目と、子どもたち自身に考えてもらう「オリジナルチャレンジ」があり、夏休みに子どもたちと保護者で協力して挑戦してもらいます。

昨年の共通種目は「30秒で何回拍手できるか」にチャレンジ。参加賞として、あさひ小学校のオリジナルキャラクター「あさひ君」をデザインした缶バッジをプレゼントしました。今年は、「20秒でペットボトルのキャップを何個積めるか」にみんなでチャレンジします。

こうした親子の絆を深める取り組みが認められ、県代表として日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会山梨大会に参加することになりました。これからも子どもたちのための活動をしていきます。（ＰＴＡ会長　島田孝）

こんな学校です！

毎週火、木曜日に校門であいさつ運動をしている生活委員会

あいさつで広がる笑顔

あいさつは、すてきな魔法です。あいさつを一声かけるだけで、みんなが笑顔になります。そんな笑顔になる魔法を学校中に広めるために、ぼくたち生活委員会は、毎週火曜日と木曜日に校門に立って、あいさつ運動を行っています。

そして毎月、ぼくたち生活委員が、５・６年生限定で、気持ち良くあいさつをしてくれるクラスメートを発表する「あいさつランキング」を行ったり、学期に１度、生活委員以外の人にも参加してもらう「あいさつ運動ボランティアキャンペーン」を実施しています。

これらの活動を通して、多くの人が積極的にあいさつをしてくれるようになりました。これからも、あいさつ日本一の学校を目指して、みんなが笑顔になれるように元気に活動を続けていきたいです。

（６年　村岡優真）

みんな仲良し

１年生を歓迎するビデオレターは２～６年生の各学年ごとに作成。写真は６年生のビデオレターの一場面

新入生へビデオレター

あさひ小では、異学年児童との「きずな」を深めるための活動を行っています。４月には、１年生の入学を歓迎するために在校生がビデオレターを作りました。コロナ禍で集会が控えられる中、在校生からの心温まるビデオに１年生も大喜び。クイズや劇を通してあさひ小について学んでいました。

また、５月からは、１～６年生までが遊んで交流する縦割り班活動「きずな学級」も始まりました。月に１度、いろいろな生き物の名前が付いたグループに分かれて遊びます。６年生では異学年を引っ張る経験を通して成長していきます。交流の少ない異学年との触れ合いに、「ただいま！　楽しかった！」と笑顔で教室に帰ってきます。人数の多い学校だからこそ、より多くの友達と過ごすことができます。触れ合いを通して、時には困難さを学んでいる子どもたちです。

（教諭　林辺くるみ）

次回は８月24日　桜川市立桃山学園（義務教育学校）です